

小学校合唱指導講習会 広報

令和3年6月26日（土）、Zoomにて、令和3年度小学校合唱指導講習会が開催されました。約30名ほどの全道の小中学校の先生にご参加いただきました。

♪講師の先生によるNコン課題曲「好奇心のとびら」講座♪

事前に募集した質問をもとに、課題曲の歌い方や指導の仕方について、お二人の講師の先生に丁寧に教えていただきました。

足立 教 先生

札幌市立美しが丘緑小学校 校長



松澤 晃二 先生

きくすいもとまち幼稚園 園長



言葉について

・「きみ」や「すぎ？」という歌詞が多く出てくる課題曲。だれかに向かって呼びかけたり、「？」のある表現とない表現を歌い比べたりと、表現の工夫について教えていただきました。
・言葉をはっきりさせるためには、子音にだけ注目するのではなく、まずは母音で練習するとよいというアドバイスをいただきました。音程を正確に取り、和音を響かせるためにも大切な練習方法だと話題になりました。

イメージについて

・「ググっと」「ビビッと」「じーん」「ピカン」「ワクワクドキドキ」など、特徴的な歌詞もたくさん登場。子どもがどう歌いたいか、という意欲も大切につつ、どう歌うと素敵になるかを考えることが大切だと教えていただきました。
・どんなイメージなのか、子どもとしっかり共有しておく大切さも教えていただきました。
・足立先生からは「景色が変わる。音色が変わる。」、松澤先生からは「照明が変わる」という表現を教えていただきました。
・ソプラノとアルトのW主役になる場面も、□への移り変わりや最後の部分など、パート同士の掛け合いや主張も大切にできるとよいとアドバイスをいただきました。

この他にも、ピアノ伴奏と一体となった演奏や指揮の振り方についてなど、たくさんのことを学ばせていただきました。



講師の先生方、ありがとうございました！

質問コーナーでも、最後の盛り上げ部分ほど話題に！図や絵などを使って、みんなイメージをもつことの大切さを改めて教えていただきました！



♪グループでの交流会♪

参加していただいた先生方を3つのグループに分け、日常の合唱指導や各学校での練習状況、そして発声方法、練習方法などについて交流しました。

練習方法

高い音から低い音へ着地するときや音の上下が大きいときは、鼻から上のポジションで歌う、ピアノをよく聴き、繰り返し合わせて練習するなど、いろいろな方法があることを交流しました。

マスクの中で…

マスク着用の中実施される今年度の練習やNコン。スタミナ維持・声量アップのために、体をつかった練習も必要です。マスク着用で練習が難しい分、簡単に踊ったりスキップをしたり、自主練習でのトレーニングやCDに合わせた練習をさせるなど、いろいろな工夫ができそうだと交流しました。

日常の授業でも！

合唱の授業が難しい中、各学校での音楽の授業の取り組み方についても交流しました。歌う時間を短くしたり小さな声で歌ったり、体育館や屋外などの広い場所で授業を行ったりと工夫がありました。小さい声だからこそ、友達の声をよく聴いて合わせることもできる！というお話もありました。